

地下水調査の結果について (令和8年3月)

令和8年3月に行った地下水調査の結果、観測井戸No. 1 において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を超える総水銀が検出されました。その他の項目及びその他の観測井戸については、すべて環境基準値を満足していました。

下流側の観測井戸No. 3への汚染の広がり確認されておらず、水銀による地下水汚染が到達する可能性がある範囲内については、地下水の飲用が確認されていないので、生活環境への影響はないと考えています。

供用開始後の地下水調査の結果

項目	試料 (採水日)	単位	ホーリング No. 1	ホーリング No. 2	ホーリング No. 3	定量下限値	基準値
			3/6	3/6	3/6		
pH		—	6.0	7.0	5.9	—	—
電気伝導率		mS/m	46.5	28.2	37.9	0.1	—
浮遊物質		mg/l	不検出 (<1)	不検出 (<1)	2	1	—
総水銀		mg/l	0.0047	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀		mg/l	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン		mg/l	51	35	30	0.1	—
ナトリウムイオン		mg/l	25	15	44	0.1	—
カリウムイオン		mg/l	0.7	0.7	1.5	0.1	—
マグネシウムイオン		mg/l	9.7	7.7	7.8	0.1	—
硫酸イオン		mg/l	64	15	25	0.1	—
硝酸イオン		mg/l	13	4.9	0.1未満	0.1	—
炭酸水素イオン		mg/l	100	130	150	0.5	—
塩素イオン		mg/l	43	12	31	0.1	—

(注) ・赤字は基準値超過を示します。

- ・不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。
- ・分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第3版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。
- ・基準値を超えた検出結果については、今治市環境化学工学専門委員に確認し、監視を続けていく方針で了承を得ています。